SONY

3-247-091-**02**(1)

TV(1-12ch)/FM/AM PLLシンセサイザーラジオ　ICF-R1000V

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

準備する
ラジオを聞く
時計を使う
その他
ラジオをもっとクリアに聞きたい
各部のなまえ
設定モード一覧

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

⚠危険 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。
しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

6〜11ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

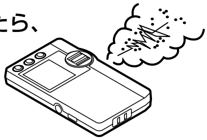
1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットやACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにテクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



1. 電源を切る
2. ACパワーアダプターで充電中の場合は、コンセントから抜く
3. テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号


火災


感電


破裂

行為を禁止する記号


接触禁止


禁止


分解禁止


ぬれ手禁止

行為を指示する記号


プラグをコンセントから抜く


指示

目次

⚠危険・⚠警告・⚠注意 6
電池についての安全上のご注意 10

準備する

付属品を確かめる 12
使う前にまず充電する 13

ラジオを聞く

イヤーレシーバーを使う 16
選局方法について 17
現在いるエリア(地域)を設定して聞く *—スーパーエリアコール選局* 18
いつも聞く放送局を記憶させて聞く *—マイメモリー選局* 24
周波数を選んで聞く *—マニュアル選局* 26
受信状態をよくする 27
誤操作を防ぐ *—ホールド機能* 28

時計を使う

時計を合わせる 29
希望の時刻にブザーを鳴らす *—アラーム機能・タイマー機能* 31
一定の時間後に電源を切る *—パワーオートオフ機能* 35

その他

使用上のご注意 36
故障かな？と思ったら 40
主な仕様 43
保証書とアフターサービス 45

ラジオをもっとクリアに聞きたい 46

各部のなまえ 51

設定モード一覧 55

⚠危険　火災　破裂　**漏液、発熱、発火、破裂**などを避けるため、必ず下記の注意事項をお守りください。

指定以外のACパワーアダプターを使わない

充電するときおよび家庭用電源で使用するときは、必ず指定のACパワーアダプターを使用してください。
破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

禁止

火の中に入れない

禁止

分解しない

感電の原因となります。充電池の交換、内部の点検および修理はテクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーのサービス窓口にご依頼ください。

分解禁止



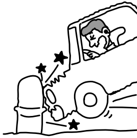
火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない

禁止

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分にご注意ください。

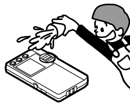

禁止



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、ACパワーアダプターをコンセントから抜き、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーのサービス窓口にご相談ください。


禁止



海外で使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

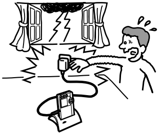

指示



雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。


接触禁止



⚠注意

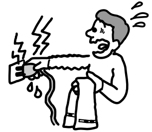
下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止



大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。



禁止



はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、ヘッドホンで聞くときにはご注意ください。



禁止

通電中のACパワーアダプターや製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。



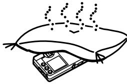
禁止

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



禁止



長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、10〜11ページの注意事項を必ずお守りください。

⚠危険　充電式電池について

- 取扱説明書に記載された充電方法以外で充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。

⚠危険　充電スタンドについて

充電スタンドにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かないでください。充電端子が金属につながると、ショートし、発熱することがあります。

⚠警告　充電式電池が液漏れしたとき

液が本体内部に残ることがあるため、テクニカルインフォメーションセンターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談してください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。
そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が出てくることもあります。

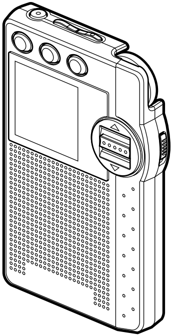
お願い

使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子(金属部分)にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください(37ページ参照)。

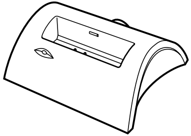
付属品を確かめる

箱から出したら、付属品がそろっているか確認してください。

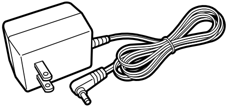
- ラジオ本体（1）



- 充電スタンド（1）



- ACパワーアダプター（1）



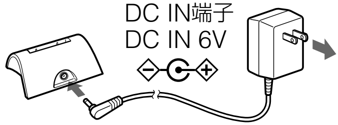
- キャリングケース（1）
- イヤーパッド*（1）
- ラジオを聞こう！かんたん操作ガイド（1）
- 取扱説明書（1）
- 周波数一覧表（1）
- 保証書（1）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）

* イヤーレシーバーが耳にぴったり合わないときは、付属のイヤーパッドをイヤーレシーバーに取り付けてご使用ください。

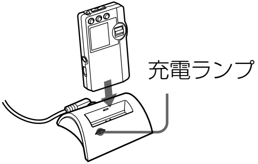
使う前にまず充電する

内蔵の充電式電池を充電してください。

1　充電スタンドのDC IN端子と壁のコンセントにACパワーアダプターをしっかり差し込む。



2　ラジオ本体を充電スタンドにのせる。
充電スタンドの充電ランプが赤色に点灯し、充電が始まります。



充電時間は約3時間です。
充電ランプが消えて、充電が完了します。

電池の持続時間 JEITA*3（単位：約　時間）

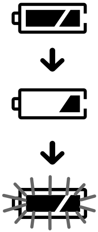
放送の種類		TV	FM	AM
イヤーレシーバー使用時	実用充電時*1	11	11	16
	満充電時*2	19	19	30
スピーカー使用時	実用充電時*1	5.5	5.5	6.5
	満充電時*2	9	9	11

*1　実用充電時：（カラ）の状態で1回（約3時間）充電した電池持続時間のめやす。
*2　満充電時：実用充電をくり返すことで最大となる電池持続時間のめやす。
*3　JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。実際の電池持続時間は周囲の温度や使用状態により、短くなる場合があります。

再充電のめやす

電池が消耗すると次のように表示が変わります。残量表示を見て、再充電してください。

残量表示



充分

あと少し

カラ

残量がなくなると「ピーッ」と鳴り、電源が切れます。
充電してください。

充電式電池の交換のめやす

充分に充電しても、持続時間が通常の半分くらいになったときは、電池が劣化していると思われます。ソニーサービス窓口へお問い合わせください。充電池の寿命は、充電放電500回が目安です。

ちょっと一言

はじめて充電するときや、旅行などで長時間使用しなかったあとでは、持続時間が通常より短くなることがあります。何回か充電、放電を繰り返すと、通常の状態に戻ります。

電源が突然切れてしまった。

- 「ピーッ」と鳴って電源が切れたら、電池がカラになったので充電してください。
- パワーオートオフ機能が動いている。
  電池のむだな消耗を防ぐために、自動的に電源が切れるようになっています。
  本機は一定時間が過ぎると、自動的に電源が切れるように設定できます。（お買い上げ時は90分に設定されています）
  この機能を解除することもできます。
  詳しくは35ページをご覧ください。

充電についてのご注意

- 充電は周囲の温度が0～35℃の環境で行ってください。
- 充電するときは、ラジオ本体を正しい向きでしっかりと充電スタンドにのせてください。正しくのっていないと充電されません。
- 充電開始時、充電スタンドの充電ランプが点灯していることを確認してください。
- 充電中にラジオ本体を充電スタンドからはずしてのせ直すと、充電終了までにかかる時間は、のせ直した時点から約3時間となります。

充電スタンドについてのご注意

- 付属の充電スタンドは、本機専用です。本機以外の充電はできません。
- ACパワーアダプターは100V専用のため充電スタンドは海外ではお使いになれません。
- 充電中は充電スタンドが熱くなりますが、危険ではありません。

充電についてのよくある質問

Q

充電スタンドにのせてあれば、放送を聞きながら充電できますか？

A

充電スタンドにのせてお使いいただけますが十分な充電が行われません。充電する場合は、必ずラジオ本体の電源を切った状態で、行ってください。

Q

TV、FM放送を受信すると雑音が入るのはなぜ？

A

イヤーレシーバーのコードは、TV、FM放送用の受信アンテナとして働きます。スピーカーで聞くときも、イヤーレシーバーのコードは受信アンテナとして、できるだけ長く伸ばしてお使いください。

Q

充電の途中に充電スタンドから本体をはずすと、充電終了時間が長くなるのはなぜ？

A

本機の充電スタンドはタイマー式です。電池の残量にかかわらず、充電スタンドにのせた時点から約3時間の充電を行います。充電が終了すると、充電スタンドのランプが消えます。充電スタンドからラジオ本体をはずしてのせ直すと、電池の充電状態に関係なく、あらたに約3時間の充電が開始されます。

Q

充電ランプが消える前に、充電スタンドからラジオをはずしても使えるの？

A

お使いいただけます。十分な充電が行われていないときは電池の持続時間が短くなります。

▶ラジオを聞く

イヤーレシーバーを使う

TV／FM放送を聞くときは、お使いのイヤーレシーバーのコードがアンテナとして働きます。イヤーレシーバーのコードをできるだけ長く伸ばしてお使いください。
スピーカーで聞くときも、イヤーレシーバーのコードをできるだけ長く伸ばしてお使いください。

ご注意

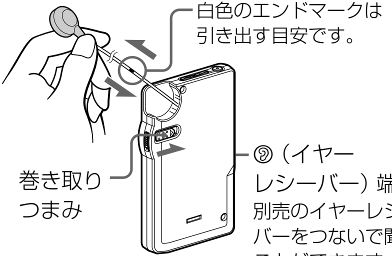
- 内蔵のイヤーレシーバーのコードは無理に引っ張らないで、軽く引き出し止まったらそれ以上引っ張らないでください。
- 🎧（イヤーレシーバー）端子にイヤーレシーバーをつなぐと、内蔵のイヤーレシーバーから音は出なくなります。
- イヤーレシーバーを耳につけたまま巻き取らないでください。コードが顔に強く当たることがあります。
- 放送を聞きながらコードを引き出したり巻き取ったりすると、雑音が聞こえる場合があります。
- 手を添えないでいきおいよく巻き取ると故障の原因になります。

引き出す

イヤーレシーバー下部を持って引き出す。
イヤーピース(耳に入れる部分)は強く押さえずに、コードを持って引き出してください。イヤーピースを持ったまま引き出すと、故障の原因となります。

巻き取る

イヤーレシーバーのコードを持ちながら、巻き取りつまみを矢印の方向にずらす。
イヤーピースが収納部に納まるまで手を添えてください。



途中でコードが止まってしまったときは

コードを10cmほど引き出して、もう一度巻き取りつまみを矢印の方向にずらしてください。

表示窓のバックライトについて

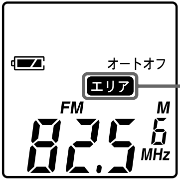
工場出荷時、各ボタン動作時に5秒間バックライトが点灯するように設定されています。電池の消耗を防ぐために解除することもできます(54ページ参照)。

選局方法について

TV、FM、AM放送が3種類の選局方法(スーパーエリアコール選局、マイメモリー選局、マニュアル選局)のいずれかで受信できます。これらの3種類の選局方法の機能について説明します。

スーパーエリアコール選局

あらかじめ本機にエリア名「関東1」が設定されています。他のエリア(地域)番号に設定すると、そのエリア(地域)の放送局を受信できます(18ページ参照)。



スーパーエリアコール選局で受信しているときに表示

マイメモリー選局

いつも聞く放送局を自分でTV、FM、AMそれぞれ3局まで記憶させることができます。聞くときはメモリー選局ボタンを押すだけで受信できます(24ページ参照)。



マイメモリー選局で受信しているときに表示

マニュアル選局

聞きたい放送局の周波数に合わせて受信します(26ページ参照)。

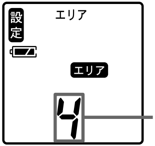


マニュアル選局で受信しているときに表示

現在いるエリア(地域)を設定して聞く

—スーパーエリアコール選局

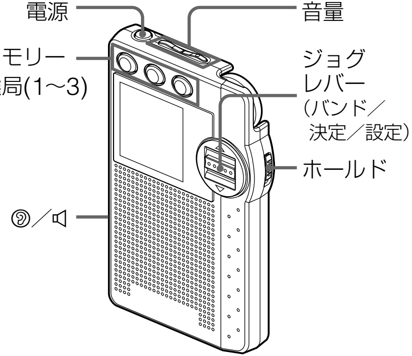
内蔵の充電式電池を充電してからラジオをお使いください。
お買い上げ時は、千葉、埼玉、東京、神奈川で、そのままお使いいただける「関東 1」のエリア設定になっています。



この地域でお使いになる場合は、エリアを設定する必要はありません。
「設定したエリアの放送局をスーパーエリアコール選局する」(21ページ)に進んでください。その他の地域でお使いになる場合は、現在いるエリアを設定してください。

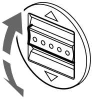
現在いるエリア(地域)を設定する

「関東1」以外の地域でお使いになる場合は、以下の手順でエリアを設定してください。



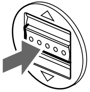
選ぶ：押し込まずに上▲下▼に動かす

押し込まないで
上▲
下▼ に動かす



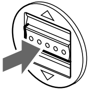
決定する：短く押す

短く押す



設定へすすむ：ピピッと鳴るまで2秒以上押す

2秒以上押す



1 電源を入れる。

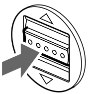
表示窓に「🔑」が表示されている場合は、ホールドスイッチを矢印と反対の方向に動かして「🔑」表示を消してください。

2 🎧／🔈切り換えスイッチで🎧（イヤーレシーバー）または🔈（スピーカー）を選ぶ。

🎧を選ぶとスピーカーから音は出ません。

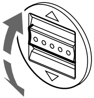
3 ジョグレバーをピピッと鳴るまで2秒以上押す。

2秒以上押す

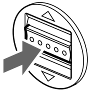


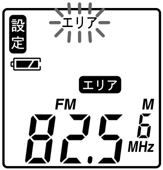
4 ジョグレバーを押し込まないで上▲、下▼に動かし「エリア」を選び、短くジョグレバーを押す。

押し込まないで
上▲
下▼ に動かす



短く押す

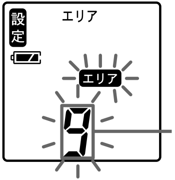




5 ジョグレバーを押し込まないで上▲、下▼に動かして、エリア番号を選び、短くジョグレバーを押す。

エリア番号は右の「エリア（地域）一覧」をご覧ください。
エリアが設定されます。

例：エリア名「近畿1」の場合



つづけて、設定したエリア内の放送局を受信するには、次の「設定したエリア（地域）の放送局をスーパーエリアコール選局する」の手順6へすすんでください。

一度設定した後は、次の「設定したエリア（地域）の放送局をスーパーエリアコール選局する」の操作に従ってスーパーエリアコール選局できます。ラジオをお使いになるエリア（地域）が変わったら、エリアを設定し直してください。

エリア（地域）一覧

エリア	エリア名	含まれる場所
1	北海道	北海道
2	東北1	青森　秋田　岩手
3	東北2	宮城　山形　福島
4	関東1	千葉　埼玉　東京　神奈川
5	関東2	茨城　群馬　栃木
6	中部	山梨　静岡　長野
7	東海	愛知　岐阜　三重
8	北陸	新潟　富山　石川　福井
9	近畿1	大阪　京都　兵庫
10	近畿2	滋賀　奈良　和歌山
11	中国	鳥取　島根　岡山　広島　山口
12	四国	徳島　香川　愛媛　高知
13	九州1	福岡　佐賀　長崎　大分
14	九州2	熊本　宮崎　鹿児島　沖縄
15	JR	東海道、山陽新幹線の新型車両内。グリーン車内は除く。

設定したエリア（地域）の放送局をスーパーエリアコール選局する

現在いるエリア(地域)の設定を終了しているときは、以下の操作で設定したエリアの放送局(付属の「周波数一覧」参照)をスーパーエリアコール選局できます。

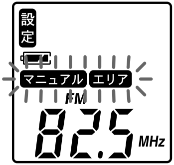
表示窓に「エリア」が表示されていない時は→手順**1**から
表示窓に「エリア」が表示されている時は→手順**6**から
(22ページ)

1 **電源を入れる。**
表示窓に「o—」が表示されている場合は、ホールドスイッチを矢印と反対の方向に動かして「o—」表示を消してください。

2 **◎／◁切り換えスイッチで◎（イヤーレシーバー）または◁（スピーカー）を選ぶ。**
◎を選ぶとスピーカーから音は出ません。

3 **ジョグレバーをピピッと鳴るまで2秒以上押す。**

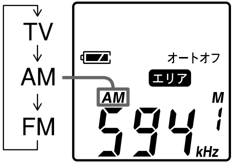
4 **ジョグレバーを押し込まないで上▲、下▼に動かし「マニュアル エリア」を選び、短くジョグレバーを押す。**



5 **ジョグレバーを押し込まないで上▲、下▼に動かし「エリア」を選び、短くジョグレバーを押す。**

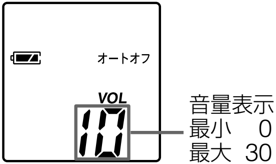


6　短くジョグレバーを押し、バンドを選ぶ。
押すたびにバンド表示が変わります。



7　ジョグレバーを押し込まないで上▲、下▼に動かして、聞きたい放送局を選ぶ。

8　音量ボタンの+/−で音量を調節する。
音量を調節すると約2秒間音量を表示します。



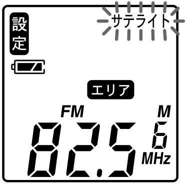
音量を調節するとき、+/−を1回押すごとに数字が変わり、押し続けると速く進みます。

スーパーエリアコール選局で受信したままでは良く聞こえないときは

サテライト局(同地域で同じ放送をしている局)を持つ放送局のときは、サテライト局を受信することで、受信状態がよくなる場合があります。サテライト局の有無と、本機に記憶されているサテライト局の数は、付属の「周波数一覧表」をご覧ください。また、地域によっては、一部放送内容が異なる場合があります。

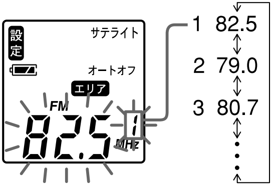
1　ジョグレバーをピピッと鳴るまで2秒以上押す。

2　ジョグレバーを押し込まないで上▲、下▼に動かし「サテライト」を選び、短くジョグレバーを押す。



3 ジョグレバーを押し込まないで上▲、下▼に動かして、良く聞こえる周波数が表示されたら短くジョグレバーを押す。

例）関東1／NHK FMの場合



ご注意

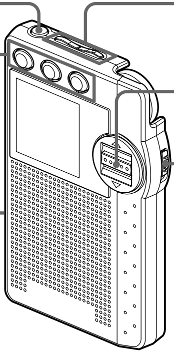
- 放送局の中にはサテライト局を持たない局もあります。その場合、ジョグレバーを動かしても周波数は変わりません。
- マイメモリー選局やマニュアル選局ではサテライト局を受信することはできません。必ず手順1から「エリア」を表示させて行ってください。
- ラジオをお使いの場所以外のエリアを選んでも、放送局を受信できることがあります。

スーパーエリアコール選局ができないとき

- 「マイ」表示が出ていませんか？
  メモリー選局（1―3）ボタンを押すとマイメモリー選局になります。ジョグレバーを押し込まないで上▲、下▼に動かすと「エリア」スーパーエリアコール選局に戻ります。
- 「マニュアル」表示が出ていませんか？
  「マニュアル」表示が出ているときはマニュアル選局になっています。「設定したエリア（地域）の放送局をスーパーエリアコール選局する」の手順1からやりなおしてください。

いつも聞く放送局を記憶させて聞く

—マイメモリー選局



放送局を記憶させる

1 電源を入れる。

表示窓に「o━」が表示されている場合は、ホールドスイッチを矢印と反対の方向に動かして「o━」表示を消してください。

2 ⑨／◁切り換えスイッチで⑨（イヤーレシーバー）または◁（スピーカー）を選ぶ。

⑨を選ぶとスピーカーから音は出ません。

3 記憶させる放送局を受信する。

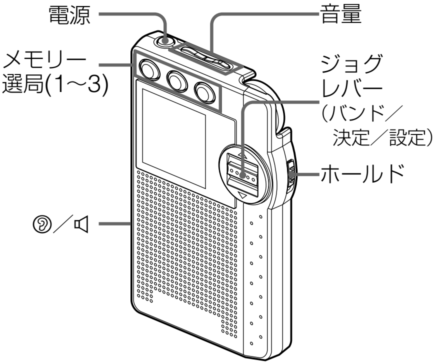
スーパーエリアコール選局（21ページ）またはマニュアル選局（26ページ）で放送局を選びます。

4 記憶させたいメモリー選局ボタン（1〜3）を選んで、「ピピッ」と音がするまで2秒以上押したままにする。

「マイ」が点灯します。

つづけて放送局を記憶させたいときは、手順3〜4を繰り返してください。

記憶させた局を聞く



1 **電源を入れ、◎／◁切り換えスイッチで◎（イヤーレシーバー）または◁（スピーカー）を選ぶ。**

◎を選ぶとスピーカーから音は出ません。

2 **短くジョグレバーを押してバンドを選ぶ。**

3 **メモリー選局ボタン（1ー3）を選びボタンを押したらすぐ指を離す。**

聞きたい放送局を受信します。



> **メモリー選局ボタンは2秒以上押さない**
> 2秒以上押すと、「ピピッ」という音とともに、記憶されていた放送局が受信している放送局に入れ換わってしまいます。ご注意ください。

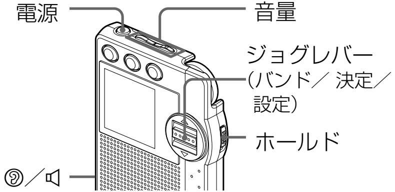
4 **音量ボタンの+/−で音量を調節する。**

記憶させた放送局を変更する

「放送局を記憶させる」の手順3で、放送局を受信し、記憶させた放送局を変更したいボタンを押します。
前に記憶させた放送局は消え、受信している放送局が記憶されます。

周波数を選んで聞く

—マニュアル選局



1　電源を入れる。
表示窓に「⊶」が表示されている場合は、ホールドスイッチを矢印と反対の方向に動かして「⊶」表示を消してください。

2　🦻／🔈切り換えスイッチで🦻（イヤーレシーバー）または🔈（スピーカー）を選ぶ。
🦻を選ぶとスピーカーから音は出ません。

3　ジョグレバーをピピッと鳴るまで2秒以上押す。

4　ジョグレバーを押し込まないで上▲、下▼に動かし「マニュアル エリア」を選び、短くジョグレバーを押す。

5　ジョグレバー を押し込まないで上▲、下▼に動かし「マニュアル」を選び、短くジョグレバーを押す。

6　ジョグレバーを押して、バンドを選ぶ。

7　ジョグレバーの上▲、下▼で、聞きたい放送局に合わせる。
ジョグレバーを1回動かすごとに周波数が変わります（AMでは9kHz、FMでは0.1MHz、TVでは1チャンネルずつ）。放送局の周波数が合うと、放送が聞こえます。



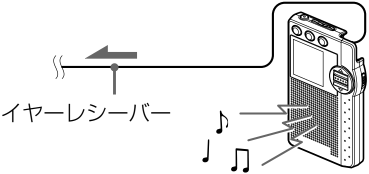
8　音量ボタンの＋/－で音量を調節する。

受信状態をよくする

携帯電話の近くでラジオに雑音が入る場合は、携帯電話の電源を切るか、ラジオから離してみてください。

TV／FM放送の場合

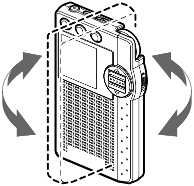
TV／FM放送を聞くときは、お使いのイヤーレシーバーのコードがアンテナとして働きます。イヤーレシーバーのコードをできるだけ長く伸ばしてお使いください。
スピーカーで聞くときも、イヤーレシーバーのコードをできるだけ長く伸ばしてお使いください。



別売のイヤーレシーバーを使用するときは、⑨端子に別売のイヤーレシーバーをつなぎ、コードをできるだけ長く伸ばしてください。内蔵のイヤーレシーバーを引き出す必要はありません。

AM放送の場合

アンテナは内蔵されているので、ラジオ本体の向きによって受信状態が変わります。もっとも良く受信できる向きにしてお聞きください。



電波が弱く、雑音が気になるときは

電源が入っている時のみ設定できます。

1 **ジョグレバーをピピッと鳴るまで2秒以上押す。**

2 **ジョグレバーを押し込まないで上▲、下▼に動かし「ノイズカット」を選び、短くジョグレバーを押す。**

3 **ジョグレバーを押し込まないで上▲、下▼に動かし「On」を選び、短くジョグレバーを押す。**



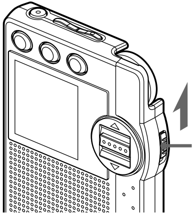
ノイズカット機能が働いているときに表示

ノイズカットを解除する

手順3で「OFF」を選ぶと表示窓の「ノイズカット」が消えます。

誤操作を防ぐ

—ホールド機能



ホールド

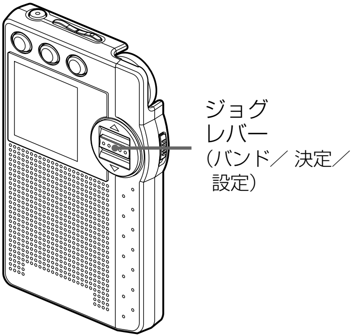
ホールドスイッチを矢印の方向にずらすと、表示窓に「⊶」が点灯し、すべてのボタン操作を受け付けなくなります。
不用意に電源が入ったり、受信局が切り換わるなどの誤操作を防ぐことができます。

ホールド機能を解除する

ホールドスイッチを矢印と反対の方向に動かすと表示窓の「⊶」が消えます。

時計を合わせる

内蔵の充電式電池を充電してからラジオをお使いください。



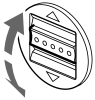
1 ジョグレバーをピピッと鳴るまで2秒以上押す。

表示窓に「⊶」が表示されている場合は、ホールドスイッチを矢印と反対の方向に動かして「⊶」表示を消してください。

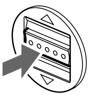


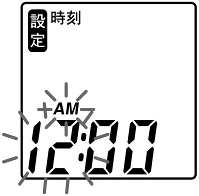
2 ジョグレバーを押し込まないで上▲、下▼に動かし「時刻」を選び、短くジョグレバーを押す。

押し込まないで
上▲
下▼ に動かす



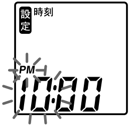
短く押す



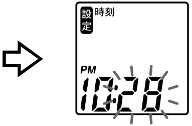


3 ジョグレバーを押し込まないで上▲、下▼に動かし「時」を合わせ短くジョグレバーを押す。同じようにして「分」を合わせ、短くジョグレバーを押す。

AMは午前、PMは午後です。
AM12:00 ＝ 真夜中、PM12:00 ＝ 正午



「時」



「分」

表示窓の「：」が点滅を始め、時刻表示をはじめます。
時報(電話117番など)と同時にジョグレバーを押すと、より正確な時刻が設定できます。

設定を途中でやめたいときは

電源ボタンを押します。

ご注意

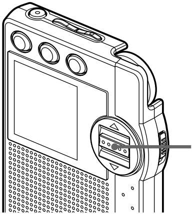
設定中に60秒以上操作をしないと、自動的に設定前の状態に戻ります。

希望の時刻にブザーを鳴らす—アラーム機能・タイマー機能

ラジオの電源の入切にかかわらず、希望の時刻にブザーを鳴らすことができます。

アラームを設定する

((•))アラーム ：何時何分と時刻を設定する
必ず時計合わせを行ってください。
（29ページ参照）

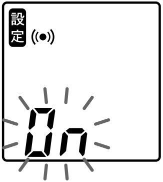


1 ジョグレバーをピピッと鳴るまで2秒以上押す。

2 ジョグレバーを押し込まないで上▲、下▼に動かし「((•))」を選び、短くジョグレバーを押す。



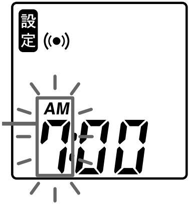
3 ジョグレバーを押し込まないで上▲、下▼に動かし「On」を選び、短くジョグレバーを押す。



時計を合わせる／希望の時刻にブザーを鳴らす

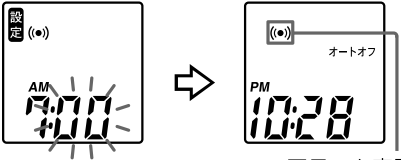
4 **ジョグレバーの上▲、下▼でブザーを鳴らす「時」に合わせ、短くジョグレバーを押す。**

例)午前7時に鳴らす



5 **手順4と同じ操作で「分」を合わせ、短くジョグレバーを押す。**

手順1を行う前の状態に戻り、「((•))」が表示されます。



設定した時刻になるとブザーが鳴ります。

ちょっと一言

- ブザーの音量は一定です。
- ラジオを聞いているときは放送の音声が止まります。ブザーが止まると再び放送の音声に戻ります。

ブザーを止めるには

どのボタンを押しても止まります。ただし、ホールド機能が働いているときは、すべてのボタン操作が無効となり、ブザーは止まりません。止めない場合は約3分間鳴り続けます。
アラームを解除しないと、同じ時刻になるとブザーが鳴ります。

アラームを解除するには

手順3で「OFF」を選びます。
表示窓の「((•))」が消えます。

ご注意

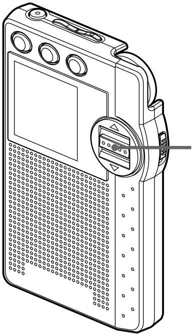
- 時計を合わせていないとき（「AM 12:00」が点滅している状態）はアラームを設定できません。
- アラームの設定後にホールド機能を働かせてもブザーは鳴ります。
- 設定中に60秒以上操作をしないと、自動的に設定前の状態に戻ります。

タイマーを設定する

タイマー　：1分後から180分後（3時間後）まで、1分刻みで設定する

必ず時計合わせを行ってください。

（29ページ参照）

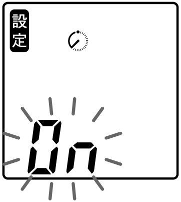


1 ジョグレバーをピピッと鳴るまで2秒以上押す。

2 ジョグレバーを押し込まないで上▲、下▼に動かし「」を選び、短くジョグレバーを押す。



3 ジョグレバーの上▲、下▼で「On」を選び、短くジョグレバーを押す。



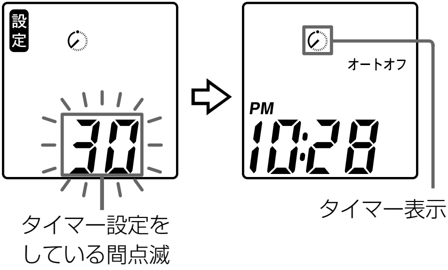
希望の時刻にブザーを鳴らす

4 ジョグレバーの上▲、下▼で何分後にブザーを鳴らすかを選び、短くジョグレバーを押す。

手順1を行う前の状態に戻り、「⏲」が表示されます。

1分後から180分後（3時間後）まで、1分刻みで設定できます。

例）30分後に鳴らすとき



設定した時間が経過するとブザーが鳴ります。

ちょっと一言

- ブザーの音量は一定です。
- ラジオを聞いているときは放送の音声が止まります。ブザーが止まると再び放送の音声に戻ります。

ブザーを止めるには

どのボタンを押しても止まります。ただし、ホールド機能が働いているときは、すべてのボタン操作が無効となり、ブザーは止まりません。止めない場合は約3分間鳴り続けます。
ブザーを止めるとタイマーは解除されます。

タイマーを解除するには

手順3で「OFF」を選びます。
表示窓の「⏲」が消えます。

ご注意

- タイマーの設定後にホールド機能を働かせてもブザーは鳴ります。
- 設定中に60秒以上操作をしないと、自動的に設定前の状態に戻ります。

一定の時間後に電源を切る

—パワーオートオフ機能

ラジオの電源の消し忘れによる電池のむだな消耗を防ぐため、一定時間(30分、60分、90分、120分)が過ぎると自動的に電源が切れるように設定できます。この機能を解除することもできます。

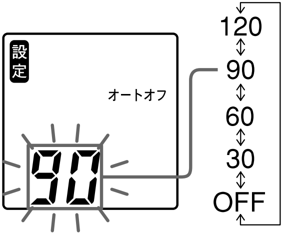
1 ジョグレバーをピピッと鳴るまで2秒以上押す。

2 ジョグレバーを押し込まないで上▲、下▼に動かし「オートオフ」を選び、短くジョグレバーを押す。



3 ジョグレバーの上▲、下▼で設定したい時間を選び、短くジョグレバーを押す。

ジョグレバーを動かすと設定時間が次のように変わります。



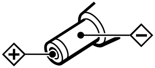
パワーオートオフ機能を解除する

手順3で「OFF」を選びます。
表示窓の「オートオフ」が消えます。

使用上のご注意

ACパワーアダプターについて

- これ以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。



極性統一形プラグ　JEITA規格

- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ACパワーアダプターをご使用時は、以下の点にご注意ください。
  ー本機を本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に置かないでください。
  ー火災や感電の危険を避けるために、水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。
- 電源コンセントから抜くときは、必ずACパワーアダプターの本体部を持って抜いてください。
- 本機を使用しないときは、すべての電源をはずしておいてください。

温度上昇について

本機を充電中または、長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

本機を廃棄するときのご注意

⚠警告 **本機を廃棄するとき以外は絶対にキャビネットを開けないでください。**

⚠注意

- 電池と基板をつないだままにしておくと電気が流れて危険です。基板からコネクターを必ずはずしてください。はずすときは、まわりの部品の内部に触れないようにご注意ください。
- 充電式電池は完全に消耗した状態を確認してから取りはずしてください。

このマークはニッケル水素電池のリサイクルマークです。

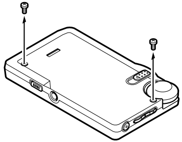
Ni-MH

本機に内蔵されているニッケル水素電池はリサイクルできます。ご使用にならなくなった本機は、右記の方法で充電式電池を本機から取り出してください。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

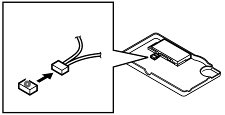
充電式電池の回収、リサイクルおよびリサイクル協力店については、
有限責任中間法人 JBRC ホームページ ：
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
を参照してください。

内蔵の充電式電池のはずしかた

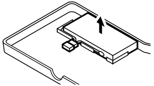
1　⊕の精密ドライバーでラジオ本体裏面のネジ2ヵ所をはずし、裏面のキャビネットをはずす。



2　基板からコネクターを矢印の方向に引き抜く。



3　電池をはずす。



4　コネクター部分に、セロハンテープなどの絶縁テープを貼る。

- 充電式電池の交換が必要なときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

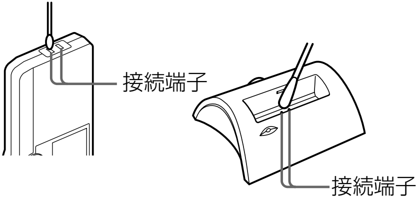
お手入れについて

本機のお手入れについて

柔らかい布でからぶきします。汚れがひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で拭いた後、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので、使わないでください。

接続端子のお手入れについて

定期的にラジオ本体と充電スタンドの各接続端子を綿棒や柔らかい布などで、きれいにしてください。



ラジオ本体下部　　充電スタンド

置き場所について

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く。
- 窓を閉めきった自動車内（とくに夏季）。
- 風呂場など、湿気が多いところ。
- ほこりが多いところ。
- 磁石、スピーカーボックス、テレビなど磁気を帯びたものの近く。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  - ー温度が非常に高いところ（40℃以上）。
  - ー直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - ー風呂場など湿気の多いところ。
  - ー窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。
  - ーほこりの多いところ。
- ラジオ内部に液体や異物を入れないでください。
- 耳をあまり刺激しないように、適度の音量でお楽しみください。
- このラジオのテレビ音声受信回路は、FM放送の受信回路と兼用のため、一部の地域では、テレビ2、または3チャンネルの音声を受信中に、FM放送が混ざって聞こえることがあります。
  このときは、テクニカルインフォメーションセンターまたはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがあります。
- イヤーレシーバーをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはテクニカルインフォメーションセンター、お客様ご相談センターに相談してください。

万一故障した場合は、内部をあけずに、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

故障かな？と思ったら

テクニカルインフォメーションセンターまたはサービス窓口にご相談になる前にもう1度チェックしてみてください。

症状	原因	処置
ラジオの音がまったく聞こえない	電池が消耗している。	充電する。
	音量が最小（0）になっている。	音量ボタンの+/−で音量（0−30）を調節する。
ラジオ本体を充電スタンドにのせているのに、ラジオが聞こえない	ACパワーアダプターがきちんと差し込まれていない。	ACパワーアダプターを充電スタンドの端子とコンセントにしっかり差し込む（13ページ）。
雑音が多く、音が悪い	電池が消耗している。	充電する。
	電波が弱い。	建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓側でお聞きください。
	イヤーレシーバーを引き出していない（TV、FM受信時）。	イヤーレシーバーを白色のエンドマークが見えるまで引き出す（TV、FM受信時はイヤーレシーバーがアンテナになります）。

症状	原因	処置
雑音が入る	近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。	携帯電話などを本機から離して使用する。
聞きたい放送局が受信できない	正しいエリアを選んでいない。	設定メニューで「エリア」を選んで、現在ラジオを使っているエリア（地域）を設定する（18ページ）。 それでも受信できない場合は設定メニューで「サテライト」を選んで、サテライト局を設定する。 エリアによって記憶されている放送局は異なります。付属の「周波数一覧表」をご覧ください。
表示窓の文字や記号が見づらい	極端に暑い場所や寒い場所で使っている。	温度が高いところ（40°C以上）や低いところ（0°C以下）では表示が見えにくくなることがあります。常温になればもとに戻ります。
ラジオの電源が突然切れた	電池が消耗している。	充電する。
	パワーオートオフ機能が働いている。電源を入れてから設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れるようになっています。	パワーオートオフ機能を解除する（35ページ）。

次のページへつづく

症状	原因	処置
充電スタンドの充電ランプが点灯しない	ラジオ本体または充電スタンドの端子が汚れている。	端子をきれいにクリーニングする。
	ラジオ本体が正しい向きで充電スタンドに置かれていない。	正しい向きで充電スタンドに置く（13ページ）。
充電式電池の持続時間が短い	0°C以下の環境で使用している。	電池の特性によるもので故障ではありません。
	しばらく使用していなかった。	何回か充電、放電を繰り返す（14ページ）。
	充電式電池の交換が必要。	ソニーサービス窓口にご相談ください。

正しく動かないときは、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご連絡ください。
修理内容により、マイメモリー選局で記憶させた放送局が消えてしまう場合があります。
重要なデータは控えをとっておくことをおすすめします。

主な仕様

ラジオ本体

受信周波数

	周波数範囲	周波数ステップ
TV	1-12チャンネル	1ch
FM	76～108 MHz	0.1 MHz
AM	531～1,710 kHz	9 kHz

スピーカー　直径2.3cm､丸形7.2Ω 1個
出力端子　⑨端子(ミニジャックΦ3.5 mm)1個
実用最大出力　40mW (JEITA*1)
電源　DC 1.2 V､充電式ニッケル水素電池1個
パワーオートオフ機能　約30分、60分、90分、120分、解除の5段階
最大外形寸法　約48 × 82 × 9.9 mm (突起部含まず)
約50.8 × 83.2 × 10.8 mm (突起部含む)
(幅/高さ/奥行) (JEITA*1)
質量　約50g

充電スタンド

電源　DC 6 V
最大外形寸法　約73.2 ×29.8 ×57.5mm (幅/高さ/奥行) (JEITA*1)
質量　約48 g

ACパワーアダプター

電源	DC 6 V、AC 100 V、50/60 Hz
最大外形寸法	約44 × 59.5 × 39.5 mm (幅/高さ/奥行) (コード含まず) (JEITA*[1])
質量	約162 g

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

*[1] JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

主要部のはんだ付けに無鉛はんだ使用。

主要部のプリント配線板でハロゲン系難燃剤を不使用。

イヤーレシーバーコードに塩ビ不使用。

待機時電力0.3W以下。（ACパワーアダプターを充電スタンドに接続し、ラジオ本体をのせていない状態）

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ラジオをもっとクリアに聞きたい

室内や電車の中などでは電波が弱く、ラジオがはっきり聞こえない！ という経験をされた方も多いかと思います。
でも、ちょっとした工夫で、あなたのラジオを今までよりスッキリハッキリ聞くことができます。

では早速そのポイントをご紹介しましょう。

イラストはお買い上げの製品と異なる場合があります。

Point 1 ラジオはアンテナが命。

空間を飛び交う電波を捕らえるのがアンテナです。
アンテナには指向性（受信感度の良い方向と悪い方向）があるので、ラジオがもっともよく受信できる方向に動かす必要があるのです。



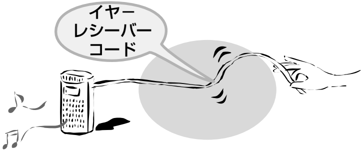
放送の種類が違うとアンテナの調整のしかたも違う？



そうなんです。
放送の種類によってアンテナの調整方法が違うのです。では、ラジオを聞きながら実際にアンテナを調整してみましょう。

TV、FM 放送を聞くときは？

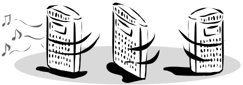
イヤーレシーバーコードを一番よく聞こえる方向に動かします。



ロッドアンテナや他の受信アンテナ（リードアンテナ）を持たないラジオの場合、イヤーレシーバーコードがTV、FM用のアンテナとして働きます。スピーカーで聞くときも、イヤーレシーバーコードはアンテナとして長く伸ばしたままお使いください。イヤーレシーバーコードをできるだけ長く伸ばし、一番よく聞こえる方向に動かします。

AM（MW）放送を聞くときは？

アンテナがラジオ本体に内蔵されているので、ラジオの向きを変えてみます。



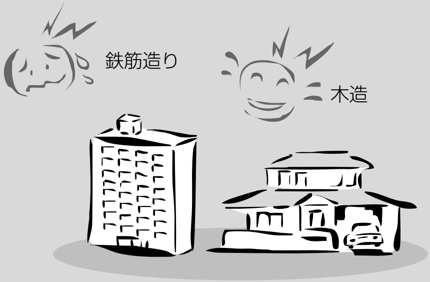
・・・一番よく聞こえる向きが見つかりましたか？

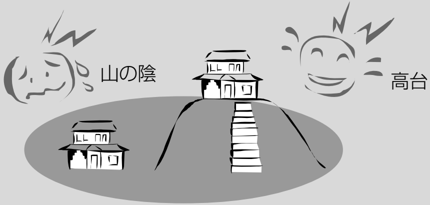
次のページへつづく

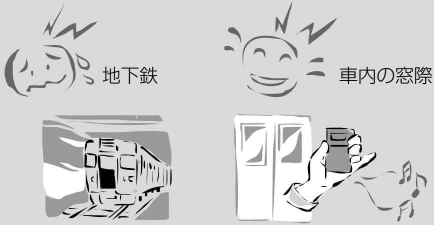
Point 2

聞く場所が大切。

家が鉄筋造りだと木造よりも電波が届きにくいことをご存知ですか？さらに、高台にある家と低い場所にある家でも違いがあります。
電車も同じです。場所によっては電波の届きかたが全然違うのです。







できるだけ窓のそばで

電波は外から入ってきます。出来るだけ窓のそばで聞きましょう。
窓の向きによっても違いがあるので、一番よく聞こえる窓を探してみてください。
いかがですか？



携帯電話から離してみる

携帯電話の近くでラジオを聞くと雑音が入ることがあります。携帯電話は通話中だけでなく、待ち受け中も電波を出しています。雑音が入る場合は、携帯電話の電源を切るか、ラジオから離してみてください。



次のページへつづく

Point
3

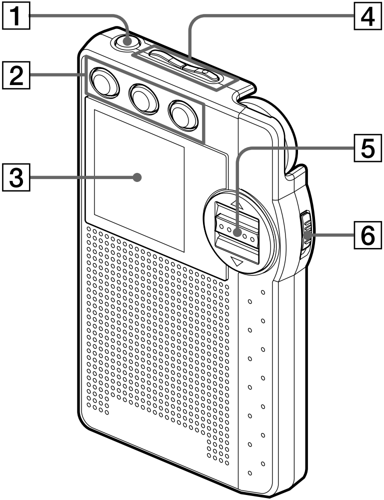
ラジオが鳴らない！
突然電源が切れる！
すぐに電源が切れる！



充電式電池が消耗すると音が小さくなったり、ひずんだりします。そのときは、充電してください。
オートオフ機能が付いているラジオの場合はオートオフ機能が働いているので再び電源を入れてください。

各部のなまえ

本体表面



1 **電源ボタン**

2 **メモリー選局ボタン（1～3）**
（24、25ページ）

3 **表示窓**（53ページ）

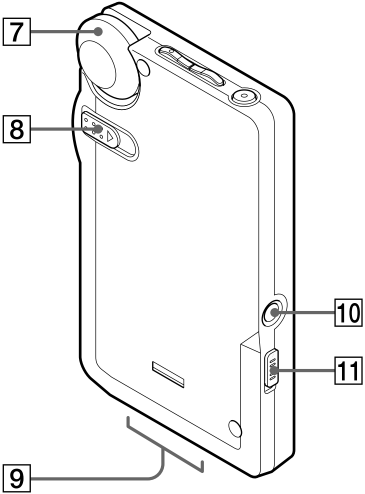
4 **音量ボタン**（＋*/－）

5 **ジョグレバー（バンド／決定／設定）**
（19、29、30ページ）

6 **ホールド**

* 音量ボタンには、凸点がついています。
操作の目印としてお使いください。

ラジオ本体裏面



7 **イヤーレシーバー**
（16ページ）

8 **巻き取り**（16ページ）
イヤーレシーバー使用後はこのつまみを矢印の方向にずらしてコードを巻き取ります。

9 **充電スタンド接続端子**

10 **◎（イヤーレシーバー）端子**
別売のイヤーレシーバーをつないで聞くことができます。（Φ3.5mm イヤーレシーバー）

11 **◎／◁切り換え**
◎(イヤーレシーバー)に合わせるとイヤーレシーバーから、◁(スピーカー)に合わせるとスピーカーから音が聞こえます。

表示窓



1 **設定モード名表示**

2 **アラーム表示**（31ページ）
アラームが設定されているときに表示される。

3 **電池残量表示**（14ページ）
電池の残量が表示される。

4 **ホールド表示**（28ページ）
ホールド機能が働いているときに表示される。

5 **マニュアル選局表示**（17ページ）
マニュアル選局モードで受信しているときに表示されます。

6 **エリア表示**（17ページ）
スーパーエリアコール選局モードで受信しているときに表示される。

7 **AM・FM・TVバンド／AM・PM表示**
受信中は受信している放送局のバンド、電源を切っているときは時刻の午前／午後（AM／PM）が表示される。

8 **ラジオ周波数／時刻表示／音量（ボリューム VOL）表示（0ー30）**

9 **タイマー表示**（33ページ）
タイマーが設定されているときに表示される。

10 **ノイズカット表示**（28ページ）
ノイズカット機能が働いているときに表示される。

11 **オートオフ表示**（35ページ）
パワーオートオフ機能が設定されているときに表示される。

12 **マイ表示**（17ページ）
マイメモリー選局モードで受信しているときに表示される。

13 **メモリー表示**（17ページ）
メモリー番号とともに表示される。

14 **音量設定表示（最小0ー最大30）**

15 **メモリー/サテライト選局番号表示（22、25ページ）**
メモリー選局で受信しているときは、選択されているメモリー選局ボタンの番号が表示される。また、サテライト局を選ぶときに番号が表示される。

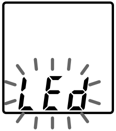
表示窓のバックライトを消すことができます

電池の消耗を防ぐため、バックライトを点灯させないようにすることができます。お買い上げ時の設定は「On」になっています。

OFFにするには

1 **電源を切る。**

2 **ジョグレバーをピピッと鳴ってから、そのまま3秒間押し続ける。**



3 **表示窓に「LEd」が点滅します。短くジョグレバーを押す。ジョグレバーを押し込まないで上▲、下▼に動かし「OFF」を選び、短くジョグレバーを押す。**
バックライトを使いたいときは「On」を選んでください。

設定モード一覧

電源	モード名（参照ページ）	機能
入っていても切ってあっても設定可能	時刻設定（29）	時刻を合わせる
	アラーム設定（31）	設定した時刻にブザーを鳴らす
	タイマー設定（33）	設定時間後にブザーを鳴らす
	エリア設定（18）	ラジオを使う地域を選ぶ
	パワーオートオフ設定（35）	自動的に電源を切る（120分・90分・60分・30分・OFF）
入っている時のみ設定可能	エリア／マニュアル設定（21・26）	エリア：スーパーエリアコール選局で選局した放送局を聞く
		マニュアル：マニュアル選局で放送局を聞く
	サテライト設定（22）	サテライト局を選ぶ
	ノイズカット（28）	電波が弱く雑音が気になるときに表示させる

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として
「テクニカルインフォメーションセンター」
を開設しています。
お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合せください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話:048-794-5194
受付時間:月－金　午前9時から午後6時まで
（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名
- ご相談内容:できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

http://www.sony.co.jp/

ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

- ナビダイヤル…………… 0570-00-3311
  （全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
- 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311
- Fax …………………………… 0466-31-2595

受付時間：
月～金
9:00～
20:00、
土・日・祝日
9:00～
17:00

Printed in China